

折に触れ 四字熟語

NO. 148 〔三平二満〕 さんぺい じまん

< 意味 > 十分ではないが、少しのもので満足し、心穏やかに過ごすこと。

出典：黄庭堅こうていけん「四休居士詩しきゅうこじのし」序

語釈：「三」「二」はともに、数の少ないことを示す。また、別意で、額・鼻・下顎（三つ）が平らで、両方の頬（二つ）が膨れている顔、おかめ・おたふくのことをいう。

一言：東京は引き続き新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下にあります。幸い物が不足するようなことはありませんが、行動は大変な制約を受けています。しかし、コロナウイルス禍が収束するまで、何とか、少しのものでも満足し心穏やかに過ごしていきたいと思えます。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」